

学校関係者評価

平成 25 年度第 1 回学校関係者評価委員会での提言

平成 25 年 11 月 26 日第 1 回学校関係者評価委員会を開催し、平成 24 年度の自己点検評価に基づき、各評価項目における改善点等、次年度における学校運営改善等へ活用、反映すべく、評価委員討議の上、以下の項目を改善の指針として学校運営会議へ提言する事とした。

評価委員の主な発言及び提言

専修学校としての職業教育の特色並びに社会的ニーズという面では明確に打ち出され、神奈川県内での第 1 期養成校としての実績もあり多くの卒業生が県内高齢者施設また障害者施設で活躍している。また、将来的に人材不足が更に深刻になり、その一助になるであろう介護従事者としての外国籍人材育成面でもすでに着手しており、研修面でも新たな介護従事者としての知識・技能に関する研修をいち早く取り入れている点など評価できる。

今後の改善点としては、

- 1) 関連外部施設、事業所等との更なる関係強化
 - 2) 即戦力につながる学習内容
 - 3) 卒業生を含めた外部施設職員向けのリカレント教育の機会の創設
 - 4) 卒業生などのネットワークの有効活用
- 等の提言があった。

次年度に向けての具体的改善策

- 1) 教育活動における
 - ①職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れる
 - ②関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直し
- 2) 学修成果における
 - ①卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善につなげる
 - ②退学率の低減
 - ③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握
- 3) 学生の受入募集について
 - ①学生募集活動において、学修成果の積極的な広報活動